


所在地:	栃木県宇都宮市平出工業団地2-2				
設立:	1967年4月				
ISO14001取得:	1997年11月	ISO14001最新更新:	2010年8月		
主要製品:	LCD、CATV、Car-TV、デジタルボード				
環境コミュニケーション:	10年度				
情報開示:	2件	工場見学:	0名	地域貢献活動:	19件
問合せ:	環境管理チーム		TEL:	028-661-1174	

ごあいさつ

宇都宮地区は栃木県の県央に位置し日光那須連山の恵まれた自然環境の下で、創業以来(1967年)従業員一丸となり生産活動を展開しております。宇都宮工場では液晶テレビを中心とした映像機器関連(LCD・CATV・STB・Car-TV)の生産及び市場サービスを担っております。
環境ISO14001の認証は、1997年単独認証、2001年AVC社統合認証を取得し、現在に至っています。
環境活動は、課題別委員会が基幹となり、CO2排出量の削減、ゼロエミッション活動、化学物質の削減、製品負荷物質削減そして地域社会への貢献活動を展開しております。又、栃木県が推進しております、マロニエECO温室効果ガス削減の部門で活動が評価され昨年優秀賞、今年是最優秀賞を頂きました。引き続き改善を図って参ります。



環境責任者

野際 辰樹

2010年度の環境重点テーマの取組み

目標

成果:全ての項目で目標達成

1.エネルギー使用量の削減 ・CO2排出量削減 :CO2総排出量t-CO2 4,623t以下	◆CO2年間総排出量実績 4,553t (70t削減)
2.有価物・廃棄物総排出の削減 ・前年度総排出量の改善率 2.5%以上	◆有価物・廃棄物総排出の削減量 改善率 4.1%(70.1t)
3.使用化学物質の削減 ・揮発性有機化合物(VOC)の削減:前年比 2.0%以上	◆揮発性有機化合物(VOC)の削減率 14.1%(771Kg)

製品・環境配慮ポイントの紹介

省エネに配慮した宇都宮地区の商品群



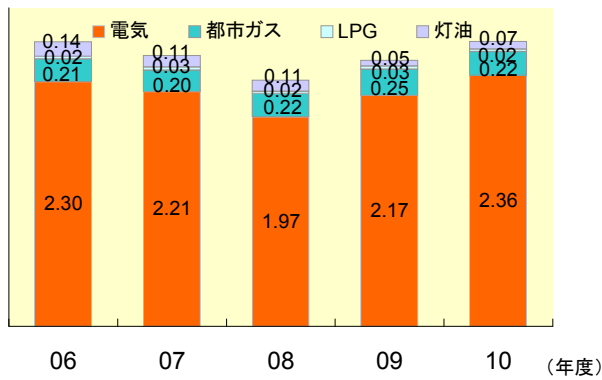
The image displays various Panasonic products with their respective energy efficiency labels:

- LCDテレビ (VIERA):** Models include G3 (42v), DT3 (37v, 32v), R3 (37v, 32v), R2B (37v, 32v), X3 (32v, 26v, 19v), and C3 (37v, 32v, 24v, 19v).
- CATV・STB:** Includes Digital STB, HDD internal digital STB, and Super! HD compatible DVR.
- カーテレビ (車載テレビ):** Includes front and rear seat displays, and a digital tuner.

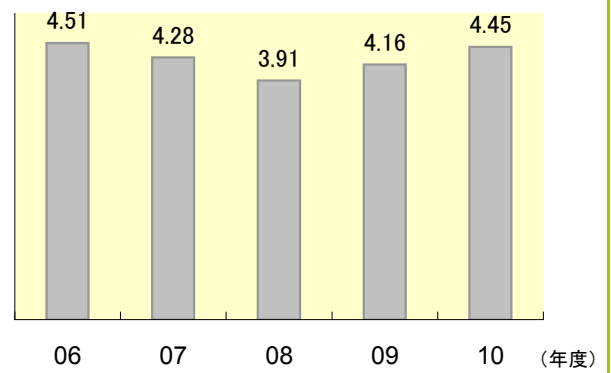
製品情報: <http://panasonic.jp/viera/products/dt3/index.html>

環境パフォーマンスデータ グラフ表示年 2010年4月1日～2011年3月31日

エネルギー使用量 単位: 千kl



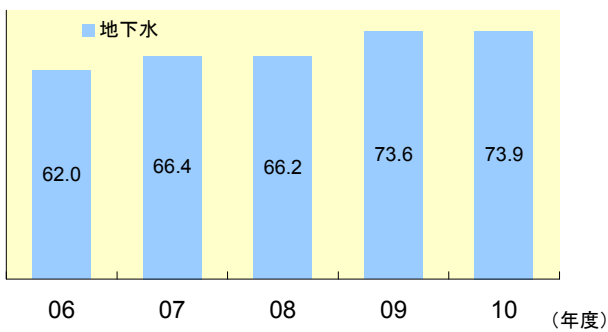
CO2排出量 単位: 千t



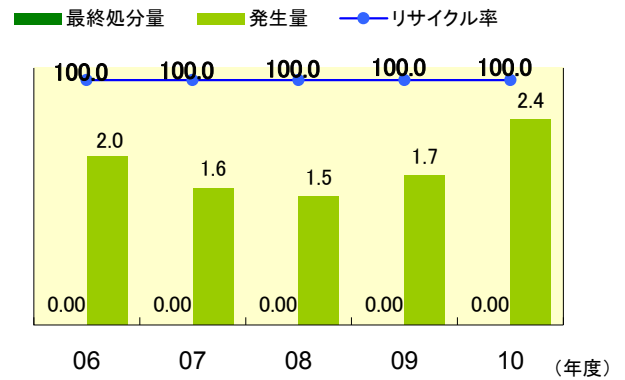
算出基準について

各年度の購入電力の係数(kgCO2/kWh)は、0.425(2006年)、2007年度以降は0.410を固定して使用しています。

水の使用量 単位: 千m³

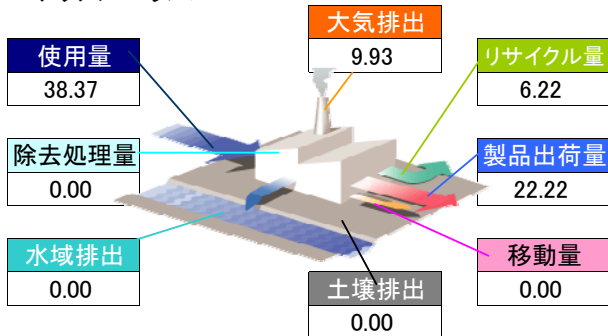


産業廃棄物・有価発生物 単位: 千t、%

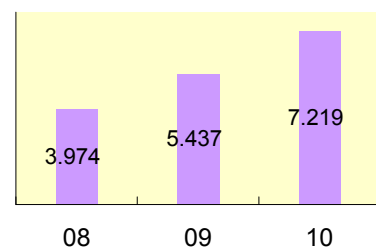


化学物質

マテリアルバランス



重点削減物質 排出・移動量



パナソニックグループの工場化学物質管理について

環境パフォーマンスデータの特記事項

http://panasonic.co.jp/eco/factory/chemical_substance/

2010年度は、地デジへの買い替えやECOポイントの恩恵を頂き生産数は2009年度比1.5倍と市場の需要に対応させて頂きました。しかし生産量は増えても工場から出る環境負荷は2008年度比、テレビ1台当りに換算すると1/2に半減出来ました。引き続き環境に優しい工場を目指し活動を展開して参ります。

環境法令等の順法状況 10年度

<大気汚染物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
SOx	Nm ³ /h	N/A					
NOx	ppm	貫流ボイラー	—	180.00	88.50	110.00	2回/年
		冷温水発生器	150.00	120.00	56.00	63.00	2回/年
ばいじん	g/Nm ³	貫流ボイラー	—	0.00	0.00	0.00	2回/年
		冷温水発生器	0.10	0.00	0.00	0.00	2回/年

<水質汚濁物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
COD	mg/l	No.1排水	60.00	42.00	9.30	13.10	12回/年
		No.2排水	60.00	42.00	9.30	10.90	12回/年
		No.3排水	60.00	42.00	8.90	21.00	12回/年
BOD	mg/l	No.1排水	60.00	48.00	7.50	10.90	12回/年
		No.2排水	60.00	48.00	8.20	19.70	12回/年
		No.3排水	60.00	48.00	6.80	16.00	12回/年
窒素	mg/l	No.1排水	—	84.00	9.40	9.40	1回/年
		No.2排水	—	84.00	4.30	4.30	1回/年
		No.3排水	—	84.00	5.10	5.10	1回/年
リン	mg/l	No.1排水	—	11.00	0.60	0.60	1回/年
		No.2排水	—	11.00	0.50	0.50	1回/年
		No.3排水	—	11.00	0.20	0.20	1回/年

<騒音・振動>

	単位	計測場所	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
騒音	dB	昼 敷地境界	75.00	72.00	57.00	71.00	1回/年
		夜 敷地境界	60.00	57.00	49.00	52.00	1回/年
振動	dB	昼 敷地境界	60.00	57.00	52.00	57.00	1回/年
		夜 敷地境界	55.00	52.00	41.00	52.00	1回/年

法令規制値:法または条例および協定の規制する値

N/A:法令規制対象外の項目

法令規制値超過について

報告すべき事項はございません。

指導、指摘事項に対する改善状況

指導、指摘事項	改善対策
報告すべき事項はございません。	

環境方針

「AVCネットワークス社 宇都宮工場 環境宣言」

＜環境宣言＞

私達人間には宇宙万物と共存し、調和ある繁栄を実現する崇高な使命が与えられている。
我が社はこの人間に与えられた使命を自覚し、企業としての社会的責任を遂行するとともに、この地球がバランスのとれた健康体であり続けるために環境の維持向上に万全の配慮と不断の努力を行う。

＜環境方針＞

映像ネットワーク事業グループテレビビジネスユニット宇都宮工場（以下「宇都宮工場」という）は「パナソニックグループ環境宣言」に則り「地球環境との共存」をあらゆる事業活動の前提に、高循環型経営を実践し、地球環境の保全に取り組む。

宇都宮工場の事業活動は、お客様に夢のある商品をお届けし、世界の人々の生活向上と豊かで楽しい生活を創造する、ハイビジョン液晶テレビ、カーテレビ、チューナー及び映像周辺機器の製造と、市場サービスを担当しています。

宇都宮工場は、環境保全と汚染防止の重要性を認識し、地球環境・社会環境・顧客環境に配慮・対応した事業活動を以下の方針に基き、全従業員で実践し、社会的責任を果たす。

1. 宇都宮工場は、全ての事業活動、製品及びサービスに関わる環境への全ての影響を認識し、地球環境保全活動の強化と汚染防止を推進するために、環境マネジメントシステムを構築・維持し、全員活動により継続的改善を図る。
2. 宇都宮工場は地域における全ての有効な法律・規則・条例・協定を含む法的要求事項及び受入を決めたその他の要求事項を順守するために自らの規程を確立し、順守する。
3. 宇都宮工場は、リスクの高い環境側面を特定し、それらの見える化を図り着実に削減を推進します。下記の重点項目（アンダーライン）を中心に全従業員が一丸となり、今年度の目標達成に向け取り組む。

1) グリーンライフイノベーション

- ① グリーンプロダクツ製品のアセスメント実施（対象機種全機種）
- ② 環境負荷物質の提言書発行（設計部門へ提言24件/年）

2) グリーンビジネスイノベーション

- ① CO2総排出量の削減：2011年度目標 CO2排出量：3,149トン以下
- ② 廃棄物・有価物発生量の削減：前年発生量に対して3.0%以上の改善（削減率）
- ③ 廃棄物リサイクル率 98.5%以上
- ④ HEI削減率：2%以上（前年比）※HEI：「ヒト・環境影響」度を示す。
- ⑤ 該当法令の順守評価の推進（1回/月）

3) エコリレー活動の取り組み

- ① 工場周辺の清掃活動を1回/月実施
- ② 収集ボランティア活動推進（キャップとブルタブを社会福祉協議会へ寄贈）
- ③ 行政、地域との連携による活動の実施または既存活動の継続

4. この環境方針を達成するために環境目的・目標を設定し、内外の変化が発生した場合は見直しを行う。
5. 宇都宮工場は、全従業員又は構内へ常駐し働くすべての人へ環境に関わる認識を高めるため、定期的に教育・訓練・要求事項の伝達を実施する。
6. この環境方針については、文書・パンフレット等にて全従業員又は構内へ常駐し働くすべての人へ周知を図るとともに、一般の方々へも公開する。

2011年4月4日

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

映像ネットワーク事業グループ テレビビジネスユニット 宇都宮工場

工場総括

上 畠 秀 世



環境負荷削減の取り組み事例

◆CO2排出量の削減

毎年、試行錯誤しながらCO2排出量削減を行っております。2010年度は、「投資を少なく効果を大きく」をテーマに活動を展開して参りました。特に冬でも冷房が必要な実装職場に外気を取り入れ、エアコン負荷を削減する改善を導入しました。外気温度が20℃以下になるとエアコン稼働から外気取り入れに切り替え、自然のフレッシュエアーが職場環境を整えます。その他同じ環境のサーバー室や送信室と言った場所へも導入拡大し、16t/年以上の削減が図れました。

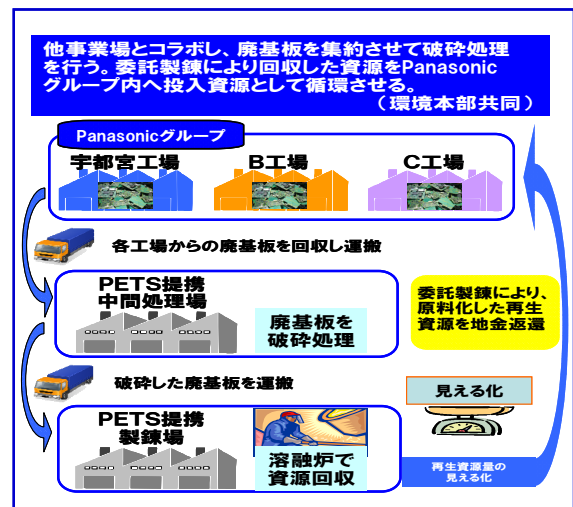
サーバー室外気取り入れ



実装工程室外気取り入れ



◆資源循環型モノづくり



環境コミュニケーション事例

地域社会への貢献

1回/年「宮環クリーンUP作戦」の実施風景

工場に隣接する宇都宮環状線の歩道を清掃

毎月、月初めの金曜日に工場周辺の清掃活動

歩道や歩道橋を中心に仕事前に実施しております

社会への貢献

ペットボトルのキャップを集めて、世界の子供たちへワクチンを贈ります。

空き缶のプルタブを集めて身体の不自由な方へ車椅子をプレゼント。

回収

回収

地球に愛を子どもに愛を
ペットボトルのキャップを集めて
世界の子供たちへワクチンを届けよう!

社会福祉協議会へ寄贈

2009年～7回寄贈

ワクチン256本分

車椅子1/10台分

2009.4 2009.7 2009.10 2010.1 2010.4 2010.7 2010.10 2011.1

緊急事態への準備と対応

＜考え方と訓練内容＞
事故・緊急事態が発生時に環境に大きく影響を与える設備や危険物保管箇所の危険リスク抽出し、重み付けします。その結果、評価点がガイドラインを超えた箇所については全て事故・緊急事態を想定した教育・訓練を実施致します。関連部署メンバーと一緒に漏れ、転倒、火災等を想定し環境への影響を及ぼさない、教育・訓練を実施しております。実施頻度は1回/年です。



灯油の貯蔵タンクからの漏洩を想定した教育・訓練



臭化リチウムタンクからの漏洩を想定した教育・訓練



危険物倉庫からの溶剤漏洩を想定した教育・訓練